

平成24年3月美馬市議会定例会議事日程（第4号）

平成24年3月19日（月）午前10時00分開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 議案第 1号 美馬市墓地、埋葬等に関する法律施行条例の制定について
議案第 2号 美馬市立図書館設置条例の一部改正について
議案第 3号 美馬市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第 4号 美馬市小集落地区改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第 5号 美馬市寺町防災交流センター条例の制定について
議案第 6号 美馬市特定非営利活動促進法施行条例の制定について
議案第 7号 美馬市立認定こども園条例の制定について
議案第 8号 美馬市公告式条例の一部改正について
議案第 9号 美馬市行政組織条例の一部改正について
議案第10号 美馬市特別職及び教育長の給料の特例に関する条例の一部改正について
議案第11号 美馬市職員の給与に関する条例等の一部改正について
議案第12号 美馬市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について
議案第13号 美馬市税条例の一部改正について
議案第14号 美馬市手数料条例の一部改正について
議案第15号 美馬市立学校設置条例の一部改正について
議案第16号 美馬市立幼稚園条例の一部改正について
議案第17号 美馬市立幼稚園預かり保育実施条例の一部改正について
議案第18号 美馬市保育所設置及び運営に関する条例の一部改正について
議案第19号 美馬市多世代交流センター条例の一部改正について
議案第20号 美馬市脇町老人福祉センター条例の一部改正について
議案第21号 美馬市国民健康保険診療所条例の一部改正について
議案第22号 美馬市介護保険条例の一部改正について
議案第23号 美馬市営墓地条例の一部改正について
議案第24号 美馬市消防事務手数料条例の一部改正について
議案第31号 平成24年度美馬市一般会計予算
議案第32号 平成24年度美馬市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
議案第33号 平成24年度美馬市国民健康保険特別会計予算
議案第34号 平成24年度美馬市後期高齢者医療特別会計予算

- 議案第35号 平成24年度美馬市介護保険特別会計予算
- 議案第36号 平成24年度美馬市公共下水道事業特別会計予算
- 議案第37号 平成24年度美馬市農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第38号 平成24年度美馬市一の森ヒュッテ事業特別会計予算
- 議案第39号 平成24年度美馬市簡易水道事業特別会計予算
- 議案第40号 平成24年度美馬市水道事業会計予算
- 議案第41号 美馬食肉センター組合の解散について
- 議案第42号 美馬食肉センター組合の解散に伴う財産処分について
- 議案第43号 市道路線の廃止について
- 議案第44号 市道路線の認定について
- 議案第45号 市道路線の変更について

日程第 3 閉会中の継続調査について

日程第 4 議員派遣の件について

平成24年3月美馬市議会定例会会議録(第4号)

◎ 招集年月日 平成24年3月19日

◎ 招集場所 美馬市議会議場

◎ 開 議 午前10時00分

◎ 出席議員

1番	中川 重文	2番	林 茂	3番	武田 喜善
4番	上田 治	5番	郷司千亜紀	7番	藤原 英雄
8番	井川 英秋	9番	西村 昌義	10番	国見 一
11番	久保田哲生	12番	片岡 栄一	13番	原 政義
14番	川西 仁	15番	三宅 共	16番	谷 明美
17番	前田 良平	18番	三宅 仁平	19番	藤川 俊
20番	武田 保幸				

◎ 欠席議員

なし

◎ 地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

市長	牧田 久
副市長	河野 尚二
政策監	・坂 章人
企画総務部長	岡田 芳宏
保険福祉部長	西前 清美
市民環境部長	小笠 博文
経済部長	大垣賢次郎
建設部長	武田 季三
水道部長	藤 公生
企画総務部理事	堀 芳宏
消防長	大久保利幸
木屋平総合支所長	藤本 高次
企画総務部総務課長	加美 一成
企画総務部秘書広聴課長	吉田ますみ
企画総務部財政課長	緒方 利春
会計管理者	岡 建樹

代表監査委員
教育長
副教育長

松家 忠秀
光山 利幸
新井榮之資

◎ 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長

井上 淳一

議会事務局次長

藤岡 博子

議会事務局次長補佐

小野 洋介

◎ 議事日程

議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

◎ 会議録署名議員の氏名

議長は会議録署名議員に次の3名を指名した。

1 1 番 久保田哲生議員

1 2 番 片岡 栄一議員

1 5 番 三宅 共議員

開議 午前10時00分

◎議長（藤川 俊議員）

改めて、おはようございます。お元気におそろいで、本当に慶賀に存ずるわけでございます。去る2月28日に開会された本会議であります。もう早、最終日と相成ってまいりました。本日まで、鋭意、委員会をこなされて、本日に至ったわけでございますけれども、本日の運営について格段のご高配をいただきますように、改めてお願いを申し上げておきたいと存じます。

したがって、ただ今より本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元にご配付の日程表のとおりでございます。よろしくお祈りを申し上げます。

また、川西議員から遅延をいたす旨の連絡が入っておりますので、あらかじめ報告をいたしておきたいと存じます。

それでは、本日の議事日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行いたいと存じます。会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、11番、久保田哲生君、12番、片岡栄一君、15番、三宅共君のお三方をご指名申し上げたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

次に、日程第2、議案第1号、美馬市墓地、埋葬等に関する法律施行条例の制定についてから、議案第24号、美馬市消防事務手数料条例の一部改正についてまでの条例案件24件、議案第31号、平成24年度美馬市一般会計予算から、議案第40号、平成24年度美馬市水道事業会計予算までの予算案件10件、議案第41号、美馬食肉センター組合の解散についてから、議案第45号、市道路線の変更についてまでのその他案件5件、合わせて39件を一括して議題といたします。

この件につきましては、所管の常任委員会に付託いたしておりましたので、各委員長の報告を求めたいと存じます。開催順にお願いいたします。

初めに、産業常任委員長、片岡栄一君。

◎12番（片岡栄一議員）

議長、12番。

◎議長（藤川 俊議員）

片岡君。

[12番 片岡栄一議員 登壇]

◎12番（片岡栄一議員）

おはようございます。議長のご指名がございましたので、産業常任委員会のご報告いたします。

本委員会は、今期定例会において付託されました、議案第3号、美馬市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について及び議案第4号、美馬市小集落地区改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正についての条例案件2件、議案第31号、平成24年度美馬市一般会計予算のうち当委員会関係分及び議案第36号、平成24年度美馬市公共

下水道事業特別会計予算から議案第40号、平成24年度美馬市水道事業会計予算までの予算案件6件、議案第43号、市道路線の廃止についてから議案第45号、市道路線の変更についてまでのその他案件3件、以上11議案について、審査のため、去る3月12日に委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含めて6名であります。

付託されました議案審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

委員から、議案第31号、平成24年度美馬市一般会計予算中、農業振興費、青年就農給付金について、新規事業として予算計上されているが、今後どのように推進していくのかとの質疑がございました。

理事者からは、この事業は45歳以上の人が新規に就農する場合、就農給付金として年150万円を5年間交付するもので、毎年数名程度を予定しており、事業が定着していければと考えている。給付を受ける条件としては、個人的な資格だけで給付を決定するものでなく、地域農業マイスタープランの作成が要件となっており、市、個人、そして地域との連携を図りながらやっていかなければならないものとなっている。制度について、広報等で十分に周知を図り、進めてまいりたい。また、農政課に相談窓口を設置し、対応することとしているとの答弁がございました。

引き続き、委員から3名分の予算を組んでいるとのことであるが、人数をクリアできるのかとの質疑がございました。

理事者からは、現在既に4名の新規就農者の方から問い合わせが来ており、その方に対し、事前の説明会を開催する予定としている。今後、追加の希望者があれば、順次対応してまいりたいとの答弁がございました。

次に、委員から議案第31号中、林業振興費、有害鳥獣捕獲報償金について、予算1,000万円の財源が全て一般財源となっているが、ほかに財源はないのかとの質疑がございました。

理事者からは有害鳥獣防護柵などの被害防止対策に対する補助金制度はあるが、捕獲・駆除に対する国・県の補助金制度はなく、一般財源で対応しているのが現状である。ただ、一般財源充当後の措置として、特別交付税の額に算定されることとなっているとの答弁がございました。

次に、委員から議案第31号中、農業振興費、市有害鳥獣被害防止対策協議会負担金について、有害鳥獣防護柵等設置事業の事業費は5,000万円と聞いているが、予算が100万円のみ計上となっているのはどうしてかとの質疑がございました。

理事者からは、有害鳥獣協議会に対する市の上乗せ分のみを計上しているため、このような形となっている。主たる事業費については、市を通さず、直接、協議会の方に交付されることとなっており、予算書に計上されないため、表に見えない形となっているが、平成24年度についても、平成23年度と同規模の予算要望を国に対して行っているとの答

弁がございました。

引き続き、委員から有害鳥獣防護柵の申請方法と対象地域はどこなのかとの質疑がございました。

理事者からは、申請・相談窓口は農政課となっている。対象地域については、平成23年度は中山間直接支払制度の地域と直接被害が出ている地域を対象に実施した。平成24年度については、中山間地域のうち、昨年未実施地域を対象に要望調査を行い、補助金確定後、地域を決定することとしている。また、当該事業は個人に対し補助するものではなく、地域に対しワイヤーメッシュ等の資材を提供し、地域において協力しあって設置していただくものであるとの答弁がございました。

もとに戻ります。議案第31号です。平成24年度美馬市一般会計予算中、農業振興費、青年就農給付金についてということですが、この事業は45歳以下の人でございませう。訂正してお詫び申し上げます。

また、当委員会の調査未了の事件については、閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出しております。

以上で、産業常任委員長の報告を終わります。

◎議長（藤川 俊議員）

次に、福祉文教常任委員長、郷司千亜紀君。

◎5番（郷司千亜紀議員）

はい、5番。

◎議長（藤川 俊議員）

郷司君。

[5番 郷司千亜紀議員 登壇]

◎5番（郷司千亜紀議員）

議長のご指名がございましたので、福祉文教常任委員会の審査結果を報告いたします。

本委員会は、今期定例会において付託されました、議案第2号、美馬市立図書館設置条例の一部改正について、議案第7号、美馬市立認定こども園条例の制定について及び議案第15号、美馬市立学校設置条例の一部改正についてから議案第22号、美馬市介護保険条例の一部改正についてまでの条例案10件、議案第31号、平成24年度美馬市一般会計予算のうち、当委員会関係分及び議案第33号、平成24年度美馬市国民健康保険特別会計予算から議案第35号、平成24年度美馬市介護保険特別会計予算までの予算案4件、合わせて14議案について、審査のため、去る3月13日、委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含めて7名であります。

付託されました議案の審査に当たり、関係部署より詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

委員から、議案第7号、美馬市立認定こども園条例の制定について、保育所と幼稚園それぞれの定員の割り振り、保育料の減免について、保護者の所得状況によっては保育料が

無料になることもあるのか。また、入園の制限をされる場合の例についての質疑がございました。

理事者からは、定員は保育所82名、幼稚園100名、合計182名である。保育料の減免については、国民健康保険税の軽減措置等を参考にしながら考慮していきたい。入園の制限については、身体的な理由等により保育士や幼稚園教諭で対応が困難な子供については入園を制限する場合があるが、介助により保育及び教育を受けることが可能であれば、入園を承諾するとの答弁がありました。

続いて、委員から議案第31号、平成24年度美馬市一般会計予算教育費中、プラスワンスクールブラッシュアップ事業補助金について、6年間の成果と課題の総括について質疑がありました。

理事者からは、プラスワン事業のねらいは、地域と関わる中で、学校や地域を愛する心を育て、ひいては美馬市に誇りを持ち、次代のふるさとを担う人材を育成することであり、学習のテーマは各小、中学校の地域性に合わせ、それぞれ異なるが、子供たちや地域の方々にも、よい教育効果が出ていると考えている。課題としては、学校が事務局を担っているため、教師に負担がかかっていること。各学校で実践した事業の学習効果を他校の児童、生徒にまで十分に波及できていないこと。最小の経費で最大の効果を上げるということに照らして、郷土愛をはぐくむ方法が別にあるのではないかという手法に関する見直し等が挙げられるとの答弁がありました。

また、当委員会は調査未了の事件について、閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で福祉文教常任委員長の報告を終わります。

◎議長（藤川 俊議員）

次に、総務常任委員会委員長、井川英秋君。

◎8番（井川英秋議員）

8番。

◎議長（藤川 俊議員）

井川君。

[8番 井川英秋議員 登壇]

◎8番（井川英秋議員）

改めまして、おはようございます。議長のご指名がございましたので、総務常任委員会の審査結果につきましてご報告を申し上げます。

本委員会は、今期定例会において付託されました、議案第1号、美馬市墓地、埋葬等に関する法律施行条例の制定について及び議案第5号、美馬市寺町防災交流センター条例の制定について、議案第6号、美馬市特定非営利活動促進法施行条例の制定についての3件及び議案第8号、美馬市公告式条例の一部改正についてから、議案第14号、美馬市手数料条例の一部改正についてまでの7件及び議案第23号、美馬市営墓地条例の一部改正について、議案第24号、美馬市消防事務手数料条例の一部改正についてまでの2件、合わ

せて条例案件12件。議案第31号、平成24年度美馬市一般会計予算のうち、当委員会関係分及び議案第32号、平成24年度美馬市住宅新築資金貸付事業特別会計予算の予算案件2件。議案第41号、美馬食肉センター組合の解散について、議案第42号、美馬食肉センター組合の解散に伴う財産処分についてのその他案件2件、合わせて16議案について、審査のため去る3月14日に委員会を開催いたしました。

出席委員は、私を含めて6名でございます。

付託されました議案の審査に当たり、関係部署より詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

委員から、議案第5号、美馬市寺町防災交流センター条例の制定について、条文第3条には、平常時は地域住民の防災訓練並びに防災研修及びコミュニティ活動の場とするところがあるが、このセンターの活用はどの地域に限定しているのかとの質疑がございました。

理事者からは、このセンターは美馬町寺町地域に位置しているため、名称を美馬市寺町防災交流センターとしているが、美馬市内の住民の方々が活用できる施設と考えているとの答弁がありました。

次に、デマンドバスの運行について、つるぎ町や阿波市など市外への運行はできないかとの質疑がございました。

理事者からは、デマンドバスの運行範囲は、原則美馬市内のみとしている。今後、市民のニーズに応えるために、運行範囲については公共交通活性化協議会で検討してまいりたいとの答弁がございました。

次に、委員からふるさと振興費のうち報償金として地域おこし協力隊3名分を計上しているが、地域おこし協力隊はどのような活動、取り組みを行っているのかとの質疑がございました。

理事者から、地域おこし協力隊の活動については、人口減少や高齢化などの進行が著しい地域において、交流体験宿泊施設での業務支援、環境保全活動、地域活性化の支援など、地域の実情に応じた業務を行うものである。委嘱期間は1年以上3年程度とし、できるだけ美馬市に、3年後も定住・定着していただけることを目指しているとの答弁がございました。現在、美馬地区と木屋平地区で地域のイベントへの参加・企画など、地域の皆さんとともに活動を展開しているとの答弁がございました。

また、当委員会は調査未了の事件について、閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、総務常任委員会の報告を終わります。

◎議長（藤川 俊議員）

以上で、各常任委員長の報告は終わりました。

ただ今の各常任委員長の報告に対する質疑をとり行いたいと思います。

質疑はございませんか。

（川西議員 着席する）

◎1番（中川重文議員）

1番。

◎議長（藤川 俊議員）

1番、中川重文君。

◎1番（中川重文議員）

それでは、発言の機会をいただきましたので、総務委員長に質問させていただきます。

議案第31号、平成24年度美馬市一般会計予算のうちの15款5項1目19節の負担金補助及び交付金の循環型社会形成推進事業予算額の2億3,126万9,000円の計上について、委員会の審査の過程及び結果に至った経過をお聞きします。

まず、第1番に本事業の専門技術検討委員会終了後の実施計画案、現在も最終に至っていないかも知れませんが、検討委員会が終わってから8カ月もたった現在、計画が大きく変化しているようでありませけれども、私たちには説明されていませんので、現時点で計画がどのように変わってきているのか、説明内容があったのであれば、その内容を少し教えていただきたいと思います。

2番目に、昨年の9月議会でも質疑をさせていただきましたが、最終処分場のごみの減量化についてお聞きします。あのときから6カ月が経過しておるんですけども、本体工事に今や取りかかろうとしている寸前でございますので、場所とか焼却炉とか、その地域の同意など、どのようになっているのか説明があったのなら教えていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

3番目に、合併特例債の活用期限が5年間猶予されようとしている現在において、地域住民、下流域住民の心配かつ問題をしている点について、すべて払拭する十分な説明をしてからでも決して遅くはないというような討論もされた上で、今回の原案どおりの認定にすべきと決めたのかどうかをお伺ひします。

以上、3点質疑しますので、よろしくお願ひします。

◎議長（藤川 俊議員）

委員長、答弁ございますか。私の方からお願いしておきたいと思ひます。議案の審査内容は、あなたのところで審査をしたわけでありませから、内容についての質問については、これは報告されておりますから、審査の過程、審査の状況、そのことについてのみご答弁をいただければ幸いかと思ひますので、誠に老婆心ながらご指摘を申し上げておきたいと思ひます。

それでは、総務委員長、井川英秋君。

◎8番（井川英秋議員）

はい、井川。

◎議長（藤川 俊議員）

井川君。

[8番 井川英秋議員 登壇]

◎8番（井川英秋議員）

中川議員さんの質疑にお答えしたいと思います。この案件に対して、先ほどの委員長報告の中で内容はしておりませんので、委員会であった質疑の内容をちょっと答弁させていただきます。

先ほど、技術的とか最終処分場の将来の説明とか特例債とか、そういう点を質疑されたと思いますが、委員会ではそのような質疑は、内容としてございませんでした。このような中で、予算計上されておりますが、質疑の内容としてあったのは、このような内容として予算計上しているが、もっと行政側としては、はっきりとした今後の方針、方向をはっきり説明しなくてはならないというような質問がございました。そのような中で、理事者側の方から、今後は市長が常に言われておるとおりの工程表における推進をしていきますというような内容の答弁があったように思います。そのような質疑内容ではなかったかと思っております。それで多分間違いないと思いますので、答弁になっているかどうかはわかりませんが、この案件に対してはそのような質疑と答弁でございましたので、ご報告を申し上げます。

◎議長（藤川 俊議員）

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

◎議長（藤川 俊議員）

質疑なしと認め、委員長報告に対する質疑を終結いたします。

これより討論に入りたいと存じます。

討論ございませんか。

◎1番（中川重文議員）

1番。

◎議長（藤川 俊議員）

1番、中川君。

◎1番（中川重文議員）

ただ今、議長より討論の許可をいただきましたので、先ほど質疑した件、議案第31号の件について、平成24年度の美馬市一般会計予算のうちの15款5項1目19節、負担金補助及び交付金の循環型社会形成推進事業予算額の2億3,126万9,000円の計上について、反対の討論をさせていただきます。

反対の理由といたしまして、まず1番目に、本事業は半ば強引に美馬市が包括的手法により推し進めている事業であり、いまだに地元地域住民及び下流域住民との事業推進における合意形成ができておらず、将来までも禍根を残す事業であることが必至であるということであります。

2番目に、事業計画に安全、安心の担保が不十分だということであります。市長が危険なデータはなく、安全性が担保できると判断をされているのであれば、専門技術検討委員会以後において追加調査の結果及び大きく計画が変更になりつつある点など、安全性だけでなく、安心できる計画になっていることの説明責任をしっかりと果たすべきだと考えるか

らであります。

続いて3番目として、昨年の東日本大震災より、日本全土でありとあらゆるところで、防災面から想定外という言葉がなくそうと、既存事業、新規事業の区別なく見直し、または計画変更がされている現在、本事業も例外なく全ての面において、今一度、原点に立ち返り見直してほしいからであります。

更に4番目として、先日の一般質問でも質問させていただきましたが、行政手続きを市民の視線に立ち、透明性を持って実施していただきたいと思うからであります。すぐ、法に触れてはいないと開き直るのではなく、手順前後もなく、議会軽視もせず、市民の立場に立った手続きをしてほしいからであります。

以上、4点ほど理由を述べましたが、各議員におかれましては、あれもこれも合併特例債の期限が迫っている点を考慮して、現計画でいたし方ないと判断された方も多いのではないのでしょうか。しかし、合併特例債の活用期限が5年間猶予されようとしている現在、牧田市長が目指す、四国のまほろば、だれもが住みたくなる町を目指すならば、もっと大局観を持って、先輩議員におかれましても再度、見直し、検討すべき事業ではなかろうかと私は思いますので、英断のほどよろしくお願いします。

以上、反対の討論の趣旨を述べまして、本会議に提案されています議案第31号の平成24年度美馬市一般会計予算の一部について、現時点では時期尚早と考え、凍結を提案するものであります。

以上でございます。

◎議長（藤川 俊議員）

議事進行上の打ち合わせのため、しばらく休憩をいたします。

小休 午前10時35分

再開 午前10時37分

◎議長（藤川 俊議員）

休憩前に引き続きまして、議会を再開いたします。

賛成討論を求めます。

◎14番（川西 仁議員）

14番。

◎議長（藤川 俊議員）

14番、川西仁君。

◎14番（川西 仁議員）

失礼をさせていただきます。ただ今、1番議員さんの方より反対討論があったわけですが、私も総務委員の一員として、そしてまた今回、総務委員会といたしまして、ただ今、委員長報告にもありましたとおり、全員より満場の委員会の可決ということで、こういった中身の中で賛成討論をさせていただきたいと、このように考えておる次第でございます。

ただ今、反対討論のあった中身につきまして、この予算につきましては委員会といたしましても肅々と、そしてまた一委員といたしまして、私もこの問題に対して理事者側に深く質問をし、やった過程がございます。こういった中身の過程でございます、私といたしましては、総務委員会の中で理事者の方に強く要望いたしました経緯といたしまして、この事業が大変遅れている経緯がございます。そして、その中身といたしまして、遅れた経緯によることによって、築堤が大変これもまた遅れていく。こういった中身の中で、本当に人命を尊重するならば、築堤を早急にやっていただくという形の中で考えましたら、やはりこの予算を通していただき、早急かつ事業に取り組みられるよう努力をしていただきたいと、このように考えておりますので、こういった中身を踏まえまして賛成討論とさせていただきます。どうぞよろしくお願いを申し上げたいと思います。

そしてまた、本会議場の議員各位におかれましても、こういった中身を踏まえまして、今後の採決につきまして、是非ともご賛同を賜りますよう、伏してお願いを申し上げます、賛成討論とさせていただきます。どうぞよろしくお願います。

◎18番（三宅仁平議員）

18番。

◎議長（藤川 俊議員）

三宅仁平君。

◎18番（三宅仁平議員）

今、賛成討論があって、私も1番議員さんの五月会でございますけん、その一員として、反対討論をさせていただきたいと思います。

この美馬市一般会計の102ページ、今の1番議員さんが言いよったように……。

◎議長（藤川 俊議員）

……。

◎18番（三宅仁平議員）

一々これに対して、この予算は凍結して、再度ゆっくりと合併特例債も5年間延長になっとるけん、やっぱり地域の人や安全性を保ってしたらええなと思っております。私も、第9回の中で市長側から、14名選んだ中で聞きよったら、かなり無理があるなど、あの場所については、そういう安全性にしたって、もうちょい研究をして、それで安全だというような方向であつたら、私も同意できますけど、今の時点ではどうしてもこれは反対やけん。もうちょい研究してほしいなと思っておりますから、よろしくお願います。

◎議長（藤川 俊議員）

他にございませんか。

◎12番（片岡栄一議員）

議長。12番、片岡。

◎議長（藤川 俊議員）

片岡栄一君。

◎12番（片岡栄一議員）

議席から失礼します。

失礼します。この辺で、お二方、反対討論がございます。堂々巡りでございますので、川西議員からの賛成討論の中、反対討論の中、採決をしていただきたいと思います、よろしくお願ひしたいと思ひます。

◎議長（藤川 俊議員）

お諮りいたします。討論が行われましたので、採決は分割して行いたいと存じます。

議案第1号から議案第24号の24件について、一括して採決を行いたいと存じます。

議案第1号から議案第24号までの24件については、各委員長の報告はいずれも原案可決であります。

お諮りいたします。議案第1号から議案第24号までの24件については先ほど申しましたように、委員長報告が可決であります。このとおりに決定をいたすことにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（藤川 俊議員）

異議なしの声がありますので、よって、議案第1号から議案第24号までの24件については、原案のとおり可決されました。

続いて、議案第31号についての採決を行いたいと思ひます。賛成の諸君の起立を求めます。

（起立多数）

◎議長（藤川 俊議員）

起立多数であります。

よって、議案第31号は可決されました。

続いて、議案第32号から議案第40号までの9件について、各委員長の報告のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（藤川 俊議員）

異議なしであります。よって、議案第32号から議案第40号までの9件については、原案のとおり可決されました。

次に、議案第41号から議案第45号までの5件について、一括採決を行いたいと存じます。

議案第41号から議案第45号までの5件について、各委員長の報告はいずれも原案可決であります。

お諮りいたします。議案第41号から議案第45号までの5件について、各委員長の報告のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（藤川 俊議員）

異議なしであります。

よって、議案第41号から議案第45号までの5件については原案のとおり可決されました。

続きまして、日程第3、閉会中の継続調査についてを議題といたします。

お手元に配付をいたしておりますとおり、閉会中の継続調査について申出書が提出されておりますので、お諮りいたします。

継続調査については、各委員長の申出書のとおり、それぞれ閉会中の継続調査に付すことに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（藤川 俊議員）

異議なしであります。よって、継続調査については、各委員長の申出書のとおり、それぞれ閉会中の継続調査に付すことに決定をいたしました。

続いて、日程第4、議員派遣の件についてを議題といたします。

お諮りいたします。地方自治法第100条第13項及び美馬市議会会議規則第160条の規定により、お手元に配付のとおり、議員派遣をすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（藤川 俊議員）

異議なしであります。よって、お手元に配付のとおり、議員派遣することに決定をいたしました。

ただ今、議決されました議員派遣に変更がありました場合には、ただちに議長に申し出をいただきたいと思えます。

以上をもちまして、本定例会に付議されました事件は、すべて議了いたしました。

閉会に当たり、市長の方からごあいさつが求められておりますので、それを許可いたします。

◎市長（牧田 久君）

議長。

◎議長（藤川 俊議員）

牧田市長。

[市長 牧田 久君 登壇]

◎市長（牧田 久君）

美馬市議会3月定例会の閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本定例会も本日最終日を迎えましたが、議員皆さま方におかれましては、大変お忙しい中、連日にわたりまして活発なご審議を賜り、提出をさせていただきましたすべての議案につきましても、ただ今、原案のとおりご可決あるいはご承認を賜り、厚く御礼を申し上げます。

議案審議等の過程におきまして、議員各位から頂戴をいたしましたご意見、ご提言につきましては、十分に検討を加えまして、今後の市政運営に反映をさせてまいる所存でございますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。

さて、まもなく迎えます平成24年度は私にとりましては、市政2期目の最終年度となるわけですが、庁舎の一元化に伴う穴吹庁舎の増改築事業や長年の懸案でございました拝原最終処分場適正処理事業などの大型事業に本格的に着手をする重要な年でございます。今後とも、共創・協働の基本理念のもとに円滑な市政運営に努めてまいりますとともに、私が愛してやまないふるさと美馬市の健全な発展のために、全力を傾注してまいり所存でございますので、議員各位をはじめ、市民の皆さま方には引き続き市政に対しまして格段のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げる次第でございます。

3月も中旬を過ぎまして、大分春めいてまいりましたが、朝夕はまだまだ肌寒さを感じる毎日が続いております。議員の皆さま方におかれましては、時節柄健康には十分ご留意をいただきまして、市政発展のためにますますご活躍をされますようご祈念を申し上げまして、閉会のごあいさつとさせていただきます。大変、ありがとうございました。

◎議長（藤川 俊議員）

ありがとうございました。

ここで、私の方からも一言ごあいさつを申し上げます。平成24年3月美馬市定例会の閉会に当たり、ごあいさつ申し上げます。

各位におかれましては、2月28日に開会をいたし、本日まで21日間にわたり、多くの案件について終始ご熱心に審議をいただきました。厚くお礼を申し上げます。また、市長をはじめ、理事者各位におかれましても、審査過程に提言をされました意見や要望につきましては、よく拳拳服膺され、後の行政に生かしていただきたいと存ずるところであります。

さて、この機会に時間を少し拝借いたしまして、この際に退任をされる各部長の皆さんに、議会を代表してごあいさつを申し上げます。本来、皆さん方にごあいさつをいただく手はずにいたしておりましたが、諸般の情勢により私の方からごあいさつ申し上げることをお許しいただきたいと思うわけであります。

この議会にそれぞれ出席された方は6名でございます。井上局長、それから小笠市民環境部長、武田建設部長、西前保険福祉部長、藤水道部長の6名でございます。これはあいいうえお順でございますので、ご理解をいただきたいと思うわけでございます。一番トップを忘れておりました。フルネームで言います、新井榮之資副教育長、以上の6名でございます。この6名が退職されるということは、これからおそらく美馬市としては連綿として続くでありましょうが、6名が大挙して退職されるということはまずあり得ないのではなかろうかと思うわけであります。

皆さんは、それぞれ美馬市の今、部長をなされておるわけですが、旧美馬町、そして穴吹町、脇町に奉職されておったわけでありまして、そして、あの狂瀾怒濤といわれた、あるいは波瀾万丈といわれたあの激動の昭和期を中堅の職員として町の将来のために果敢取り組まれ、今日の礎を作ったわけでありまして、また、合併後におかれましても、町の機能の再生のためにいろいろとご腐心をなされ、寝食を忘れ、骨身を削って、町の将来のためにいろいろまちづくりの機能的な部分を担われて今日に至っておるわけでありまして。

いろいろとご苦労され、今、思い返してみると、ほんとうに皆さん、万感胸に迫るものがあるかと思うわけでありますが、どうぞ退職後におかれましても、一市民として美馬市の進展、そして美馬市の将来のために何かとご尽力いただければありがたいかと思うわけであります。そして、そんなに努力され、ご苦労されたわけでございますが、必ずや神様も皆様の将来のために、いい幸せな人生を用意されておられることだと私は信じて疑わないものであります。皆さんのこれからの将来、それから退職後の楽しい生活に幸多からんことを心から祈念を申し上げまして、議会を代表してごあいさついたしましたものであります。6名の皆さん、大変ご苦労でございました。ありがとうございました。

以上をもちまして、本会議に付議されました議案について、全部審議を終了いたしました。本日は、これにて閉会といたしたいと存じます。大変ご苦労でございました。

閉会 午前10時57分